

# Digital Camera 倶楽部

FEB 2023  
Vol.023

編修・更新が遅れて申し訳ありません。

春は名のみ風の寒さ・・・ そんな昨今ですが皆さんお元気でお過ごしのことと存じます。

日照時間も少しずつ延びて参りました、紅白の梅の見頃とロウバイの黄色、確実に春は近づいて来ていますね。しかし花粉も飛び始めた様子です。

コロナは感染症の分類で第5類になるとか、暖かくなって一度に緩和されてまた感染拡大となっては貰いたくありませんね。

しかし、我々も気温の上昇と共に気持ちがウキウキして来るもので、どこかに行きたくなります。

桜の頃には撮影会を開催したいと思っています。1月にお渡ししたコースもご参考に皆様のリクエストを、お聞きしたいと思っています。

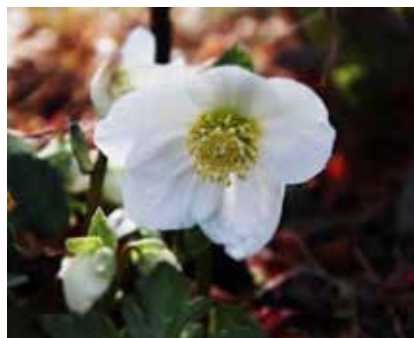


改装前の姫路城です 2006年  
改装では瓦の目地の白が大きくなりました



## 金井陽子のページ

**花菜ガーデン**：寒さの中お花を発見すると、喜びが何倍にもなっていて、エネルギーを充電出来ました。今年もよい年でありますように・・・。





笹原虎夫のページ

## 初春の花模様



黄梅モドキ

深紅の乙女椿



花芽の準備ができた  
モクレン



# ルリビタキの三態



ルリビタキ雄

ルリビタキ  
若鳥の雄



ルリビタキ雌



鈴木義則 のページ

## 冬の福島と神奈川

年こそは違いますが同じ時期の風景を集めてみました。こう見ると福島は確かに寒い。  
又、関東と東北の力の違いも見せつけられて現代語でも寒い。



写真上：1月の宮ヶ瀬ダムには暖かな  
日差しが注ぐ

写真下：2月の福島安達太良連峰には  
雪景色が寒い





写真上：11月の愛川周辺の裏通りですが車の列は絶えず、  
活気を感じる

写真下：4月の福島から会津に抜ける主要道路ですが  
現代語的に寒い





写真上：12月の横浜港のみえる丘公園ですが花木がきれいに配置されています

写真下：1月の福島信夫山公園ですが自然が残されている代わりに派手さはない





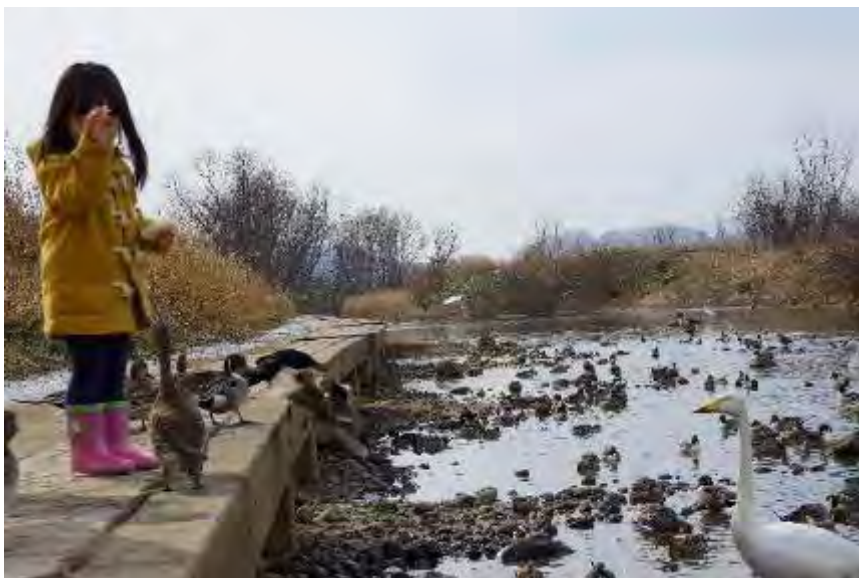
## 鈴木瑠美子 のページ 「思い出のシーン」

2008年2月の福島阿武隈川です。若山牧水の歌「白鳥はかなしからずや空の青海のあをにも染まずただよふ」のイメージとは程遠い渡り鳥の群れでした。2016年頃には鳥インフルエンザの影響でこの程度に減ってしまいました。



↑  
2008年2月

2016年2月 →



女の子が与える餌に寄ってくるのは鴨がメインで白鳥はあまり興味がなさそうです

水切りのために羽を広げる白鳥、きれいです



餌を食べる白鳥たち、「頭隠して何隠さず」。おかげで鴨は降り場なし





鴨は坂登は不得手な  
ようで一生懸命です

鴨の夫婦、見ている  
こちらが恥ずかしい



家に帰って初春の  
花「福寿草」に迎え  
てもらいました

森 恵美子のページ



大晦日の武田神社

掃き清められた神社

お礼参り

巫女さんも忙しそうに本殿に移動している

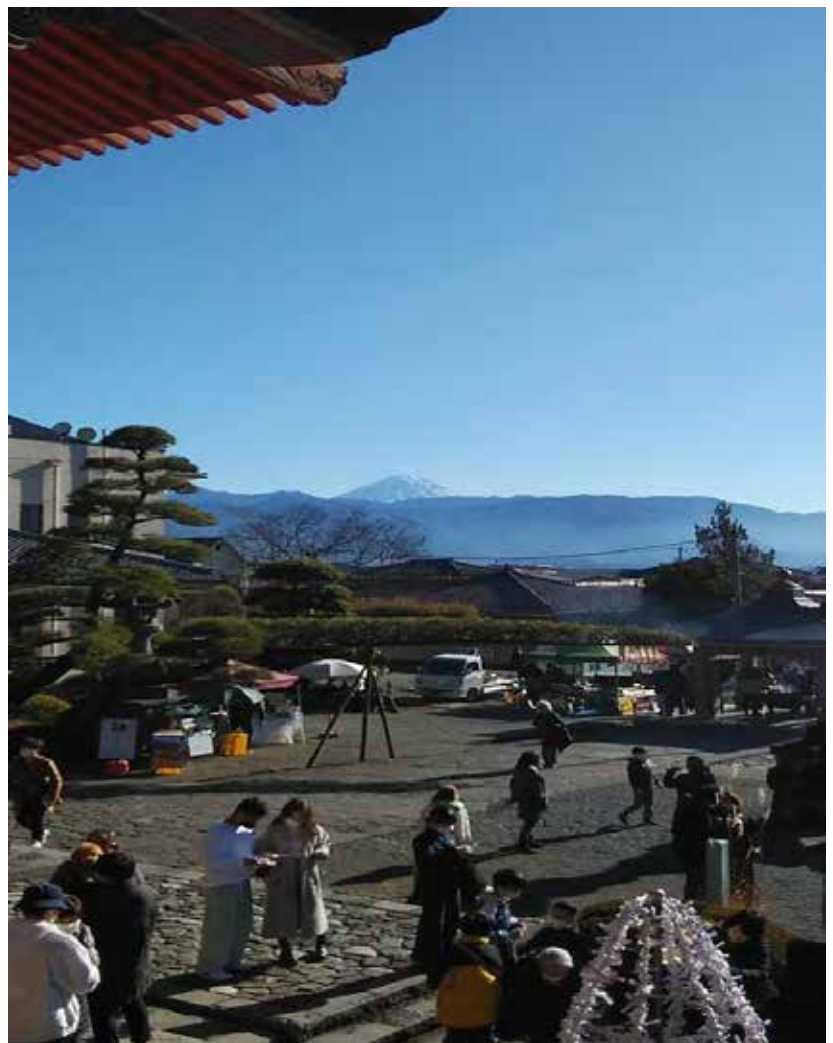


2



## 2023 年初詣 甲斐善光

大勢の人々で境内は大賑わい  
遠く晴れ間から富士山が見える



# 上田良光のページ

往時を偲ぶ古城址 高遠城址の紅葉









櫛の落ち葉 一面の絨毯と銀色の屋根 道の駅南アルプスむら長谷



秋の実り太陽の光りを浴びて紅く鮮やか



金井寿雄のページ



平塚

花菜ガーデン





愛川町  
上熊坂地区  
どんど焼き

